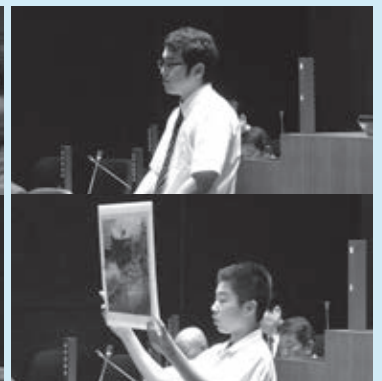
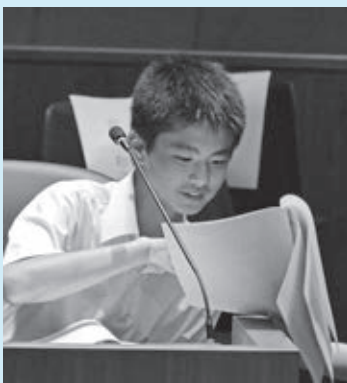


中高生が多様な提言 坂東市青少年議会



8月24日、市役所議場にて「青少年議会」が開催され、中高生が執行部に対し、地域の活性化や防災、高齢者福祉などについて質問を投げ掛けました。

同議会は、未来を担う子どもたちに行政への意識を高め、今年初めて高校生が参加しました。当日は、市内の中高生13人が参加。その中から議長役などを決め、議員役の生徒たちは議員席に座り、保護者や市議が傍聴するなか全員が登壇しました。近い将来、選挙権を持つことになる中高生が、議会を体験することで市政の仕組みや市議会の役割を理解し、将来の坂東市をもっと考え、行動してくれることを期待します。



▼「自分は絶対だまされたい」そんなあなたがだまされる